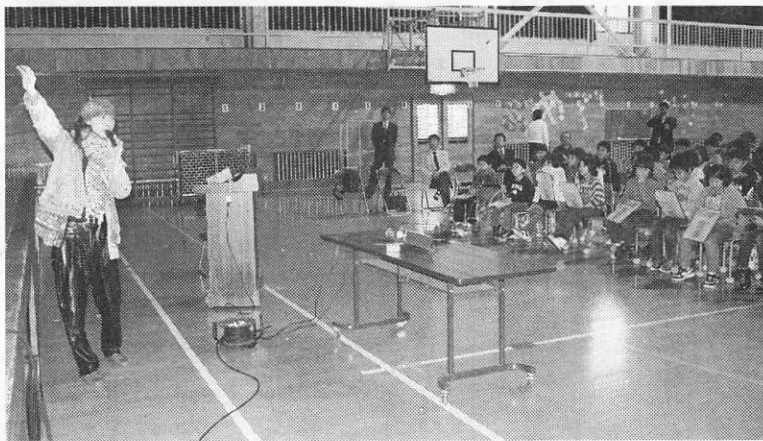


2013年(平成25年)4月27日(土曜日)

目に留まるラベル作成

釈迦内小 講師招きポイント学ぶ



児童にラベルデザインのポイントを説明するヒラヤマさん(釈迦内小)

栽培したヒマワリの種で食用油を製品化し、販売活動を展開する大館市の釈迦内小学

校(五十嵐校長)でこのほど、デジタルクリエイター・ヒラヤマユウジさん(横浜市)

を招いた特別授業が行われ、5・6年生が、消費者の目につきやすいパッケージラベルの作成についてアドバイスを受けた。

釈迦内地区では、地域ぐるみでヒマワリを核にした活性化事業「釈迦内サンフラワープロジェクト」に取り組んでいる。同校は栽培、油の販売など、事業に積極的に参画している。

ヒラヤマさんを講師に迎えた授業は昨年に続き2回目。秋北バス(太田吉信社長)が自社事業を通してつながりがあり、今回も開催を企画した。

ヒラヤマさんは、ラ

ベルをデザインする上で▽目に飛び込んでくる色▽文字の大きさ・太さ▽文字の位置を重要点に挙げた。昨年の6年生のデザインを示し、「文字とイラストを重ねない」「商品名を一番目立たせて」などと強調した。

6年の沢木正汰さんは「色に注意し、見やすいように工夫したい」と声を弾ませた。

児童は10月までにラベルを作成し、産業祭での販売を目指す。